2025年度こども家庭ソーシャルワーカー認定資格試験

■■　試験科目別出題基準　■■

科目名	大項目	中項目	小項目（例示）
こども家庭福祉	こどもの権利擁護	（１）こどもの権利の考え方 （２）こどもの権利に関する経緯 （３）児童の権利に関する条約や国内法 （４）こどもの権利擁護のための意見表明等支援とアドボカシー	①こどもの権利の考え方 ②こどもの権利に関する経緯と歴史 ③児童の権利に関する条約（国連「児童の代替的養護に関する指針」、出自を知る権利を始めとした権利を含む） ④こどもの権利に関する国内法（児童福祉法） ⑤こどもの意見表明等支援とアドボカシー ⑥こどもの権利侵害
	児童虐待の理解	（１）児童虐待の定義とその背景 （２）虐待等によるこどもへの影響 （３）虐待等を受けたこどもの回復に向けて必要な支援 （４）児童虐待等と関連する諸課題	①児童虐待の定義（マルトリートメント、体罰概念を含む）と児童虐待の背景 ②虐待等不適切な養育環境が及ぼすこどもへの長期的影響（身体的、認知的、社会的、情緒的、行動上の問題等） ③虐待による身体的成長・発達等への影響 ④児童虐待や逆境体験とその心理的影響の理解（小児期の逆境体験と保護要件等） ⑤アタッチメントとアタッチメント障害 ⑥心的外傷がこどもに与える心理・行動・発達への影響や支援の視点（トラウマインフォームドケア等） ⑦誤学習 ⑧喪失体験とその影響 ⑨虐待を受けたこどもが抱える課題（非行やいじめ等） ⑩虐待と精神保健 ⑪虐待予防や虐待を受けたこどもへの支援の概要（地域の見守りやアウトリーチ等の予防的な支援を含む） ⑫虐待を受けたこどもの保護者・家族の理解と支援
	こども家庭をとりまく環境と支援	（１）こども・家族・家庭の定義と権利 （２）こどもの養育環境や社会環境がこどもに及ぼす影響	①こども・家族・家庭の定義 ②こども家庭福祉の理念 ③ライフステージ（胎児期・周産期～青年期等）ごとのこどもに必要な養育環境・社会環境

		（３）こどもが置かれている多様な状況とニーズ	④養育環境・社会環境の変化・変更がこどもに及ぼす影響 ⑤養育環境・社会環境がこどもに及ぼす影響（環境がこどもにもたらすポジティブな体験・虐待等の逆境体験、環境とこどもとの相互作用を含む） ⑥こどもが置かれている多様な状況とニーズの理解 ⑦外国にルーツを持つこどもや家庭の状況 ⑧要介護者・要支援者のいる家庭とこどもへの影響、ヤングケアラー ⑨こどもや家庭（女性、若者を含む）への支援における組織・団体の役割 ⑩災害時におけるこどもを取り巻く環境と課題及び支援の原則と方法
	保護者や家族の理解	（１）保護者や家族の生活実態とこれを取り巻く社会環境 （２）家族に対する支援 （３）家族システム （４）こども・家庭に対する支援における関係機関と専門職の役割 （５）ひとり親家庭が置かれた状況や課題	①家庭を取り巻く社会環境 ②保護者や家族の理解（DV、精神障害、知的障害、発達障害、依存症、社会的孤立等） ③家族の機能 ④家族理解とその支援の手法（ひとり親家庭、ステップファミリー等の多様な家族の形態、家族の歴史、家族力動、家族のライフコース、保護者の生育歴、世代間連鎖）（ジェノグラム、エコマップ等） ⑤家族システムの理解（虐待が起こる過程を含む） ⑥関連する法制度（母子及び父子並びに寡婦福祉法、児童扶養手当法、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律、生活困窮者自立支援法等）
	行政の役割と法制度	（１）こども・家庭に関する制度の発展過程 （２）こども・家庭に対する法制度 （３）こども・家庭に関する行政機関の役割	①こども家庭福祉制度の歴史 ②こども家庭福祉に関する法制度（児童福祉法、児童虐待の防止等に関する法律、民法、民間あっせん機関による養子縁組のあっせんに係る児童の保護等に関する法律等） ③こども家庭福祉に関わる組織等の役割（国、都道府県、市区町村の役割を含む）
	社会的養護と自立支援	（１）社会的養育の理念 （２）社会的養護における多様な支援のあり方 （３）児童養護施設等にお	①社会的養育の理念と支援の基本（パーマネンシー保障、社会的養護における運営・養育指針、こどもの意見表明等支援とこどもを中心とした支援 、被措置児童等虐待の禁

		ける自立支援 （４）社会的養護に係るこども等への切れ目のない自立支援 （５）社会的養護や自立支援に関わる専門職等の役割	止等） ②こどもの支援における社会的養護の意義（児童養護施設等、里親、養子縁組等） ③社会的養護に係るこどもへの支援（移行支援、ライフストーリーワーク） ④児童養護施設等における自立支援（自立支援計画、親子関係再構築支援） ⑤社会的養護に係る児童、若者への切れ目のない自立支援（居住支援、就労支援や成年後見制度の活用を含む） ⑥社会的養護や自立支援に関わる専門職等の役割 ⑦アドミッションケア、インケア、リービングケア、アフターケアの実際
	こどもの権利擁護と倫理	（１）こどもの権利の考え方について理解する （２）こどもの権利に関する条約や国内法について理解する （３）こどもの権利侵害について理解する	①こどもの権利の考え方 ②児童の権利に関する条約 ③児童福祉法の理念 ④国連「児童の代替的養護に関する指針」 ⑤こどもの権利侵害
	こども家庭相談援助制度及び実施体制	（１）こども家庭の問題に関する現状と課題について理解する （２）こども家庭福祉に関する法令及び制度について理解する （３）国、都道府県（児童相談所）、市区町村の役割について理解する	①こども家庭の問題に関する現状と課題 ②こども家庭福祉に関する法令及び制度 ③国、都道府県（児童相談所）、市区町村の役割
	児童相談所の役割と連携	（１）児童相談所の組織と職員について理解する （２）援助決定の流れについて理解する （３）市区町村こども家庭相談と児童相談所との協働について理解する	①児童相談所の組織と職員 ②援助決定の流れ ③市区町村こども家庭相談と児童相談所との協働
	こども家庭相談の運営と相談援助のあり方	（１）こども家庭相談の業務について理解する （２）相談受理のあり方や支援決定の流れを理解する （３）保護者理解と支援について理解する	①こども家庭相談の業務 ②相談受理のあり方 ③支援決定の流れ ④保護者理解と支援 ⑤面接相談の方法と技術 ⑥こどもの面接・家族面接・家庭訪問のあり方

		（４）面接相談の方法と技術について、特にこどもの面接・家族面接・家庭訪問のあり方を理解する	
	社会的養護と市区町村の役割	（１）社会的養護制度や養子縁組制度について理解する （２）社会的養護と児童相談所などの関係機関との連携について理解する （３）移行期ケア、ファミリーソーシャルワーク及び家庭復帰支援、年長児童の自立支援のあり方について理解する （４）生活支援と治療的養育について理解する （５）社会的養護における権利擁護（被措置児童等虐待、苦情解決、第三者評価）について理解する （６）社会的養護における永続性・継続性を担保するソーシャルワークのあり方について理解する （７）家庭復帰と市区町村の役割について理解する	①社会的養護制度 ②養子縁組制度 ③社会的養護と児童相談所などの関係機関との連携 ④移行期ケアのあり方 ⑤ファミリーソーシャルワーク及び家庭復帰支援のあり方 ⑥年長児童の自立支援のあり方 ⑦生活支援と治療的養育 ⑧社会的養護における権利擁護（被措置児童等虐待、苦情解決、第三者評価） ⑨社会的養護における永続性・継続性を担保するソーシャルワークのあり方 ⑩家庭復帰と市区町村の役割
	こどもの成長・発達と生育環境	（１）こどもの成長・発達の特性について理解する （２）生育環境とその影響（DV・貧困を含む）について理解する （３）こども及び保護者の精神や発達等の状況について理解する	①こどもの成長・発達の特性 ②生育環境とその影響（DV・貧困を含む） ③こども及び保護者の精神や発達等の状況
	こども虐待対応	（１）こども虐待対応の基本原則（基本事項）について理解する （２）こども虐待の発生予防や早期発見・早期対応について理解する （３）こども虐待における保護・支援（在宅支援・分離保護・養育・家庭支援）について理解する （４）こども虐待事例のケースマネジメント（アセスメント・プランニング）	①こども虐待対応の基本原則（基本事項） ②こども虐待の発生予防 ③こども虐待における早期発見・早期対応 ④こども虐待における保護・支援（在宅支援・分離保護・養育・家庭支援） ⑤こども虐待事例のケースマネジメント（アセスメント・プランニング） ⑥こども虐待事例の心理療法 ⑦こども虐待の重大な被害を受けた事例（死亡事例を含む）の検証の理解 ⑧虐待・ネグレクトがこどもに与える心理・行動的影響 ⑨事実や所見などに基づく虐待鑑別・判断

		について理解する （５）こども虐待事例の心理療法について理解する （６）こども虐待の重大な被害を受けた事例（死亡事例を含む）の検証について理解する （７）虐待・ネグレクトがこどもに与える心理・行動的影響について理解する （８）事実や所見などに基づく虐待鑑別・判断、被害事実確認面接について理解する （９）通告の受理、安全確認、通告時の聞き取り方について理解する (10)通告時の危機アセスメント、初期マネージメントについて理解する (11)調査について理解する (12) 警察・検察など関係機関との連携の必要性・あり方について理解する (13)特別な支援が必要な事例について理解する (14)乳児揺さぶられ症候群(SBS)、虐待による頭部外傷(AHT)への対応について理解する (15)性的虐待への対応について理解する (16)居住実態が把握できない児童や無戸籍児童への対応について理解する	⑩被害事実確認面接についての理解 ⑪通告の受理、安全確認 ⑫通告時の聞き取り方 ⑬通告時の危機アセスメント、初期マネージメント ⑭調査 ⑮警察・検察など関係機関との連携の必要性・あり方 ⑯特別な支援が必要な事例（代理によるミュンヒハウゼン症候群、性的虐待、医療ネグレクト）の理解 ⑰乳児揺さぶられ症候群(SBS)、虐待による頭部外傷(AHT)への対応 ⑱性的虐待への対応 ⑲居住実態が把握できない児童への対応 ⑳無戸籍児童への対応
	母子保健機関やこどもの所属機関の役割・連携及びこどもと家族の生活に関する法令・制度	（１）母子保健における視点について理解する （２）母子保健に関する法令と施策、母子保健事業の展開と実務について理解する （３）母子健康手帳の活用について理解する （４）特定妊婦の把握と支援について理解する （５）教育機関との連携のあり方について理解する （６）保育所等の利用と連携のあり方について理解	①母子保健における視点 ②母子保健事業の展開と実務 ③母子健康手帳の活用 ④特定妊婦の把握と支援 ⑤教育機関との連携のあり方 ⑥保育所等の利用と連携のあり方 ⑦こども・若者支援制度 ⑧ひとり親家庭の支援制度

		する （７）こども・若者支援制度について理解する （８）ひとり親家庭の支援制度について理解する	
関連知識	精神保健の課題と支援	（１）現代の精神保健の動向 （２）精神保健に関する差別や偏見等の課題 （３）ライフサイクルに応じて発生しやすい精神保健上の課題 （４）家庭に関連する精神保健の課題 （５）精神保健福祉に関する支援、精神保健に関する発生予防と対策 （６）精神保健福祉に関する支援を担う機関と専門職の役割	①精神保健の動向（法制度を含む） ②こどもや保護者の精神疾患との関連で発生する症状や行動の理解 ③ライフサイクルに応じて発生しやすい精神保健上の課題（出産・育児をめぐる精神保健上の課題等） ④精神疾患が及ぼすこどもや家庭への影響（社会的孤立や差別・偏見を含む） ⑤精神保健福祉に関する支援（精神保健上の課題の予防を含む） ⑥家庭における関係の課題（精神疾患を抱えた保護者とこどもの関係性に関する課題） ⑦こどもや保護者の自傷行為の理解、自殺の予防と支援（遺族・遺児への支援を含む） ⑧異文化に接した際に生じる精神保健上の課題 ⑨精神保健福祉に関する支援を担う機関と専門職（医療機関を含む）
	こどもの身体的発達等、母子保健と小児医療の基礎	（１）こどもの身体的な成長発達 （２）障害理解と発達支援 （３）ライフステージにおける心身の変化と健康課題 （４）健康及び疾病の捉え方 （５）身体構造と心身機能 （６）疾病と障害の成り立ち及び回復過程 （７）周産期、母子保健、保健医療対策	①心身の成長（成長曲線等） ②健康と疾病 ③障害（小児慢性疾患、身体障害、知的障害、発達障害等）や小児慢性特定疾患の概要と法制度 ④疾病と障害及びその支援（予防・治療・予後・リハビリテーション等） ⑤障害児や障害児の家族の支援 ⑥妊産婦への支援と母子保健 ⑦周産期の母体、こどもの育ち（周産期の保健医療対策を含む） ⑧虐待による身体的外傷の特徴 ⑨医療と保健・福祉の連携
	こどもの心理的発達と心理的支援	（１）人の心の基本的な仕組みと機能 （２）人の心の発達過程 （３）不適切な行動やその背景 （４）心理学の理論を基礎	①こどもの心の発達の基盤と発達過程 認知的、社会的、情緒的、性的、性的アイデンティティ LGBTQ 等の多様なあり方 、行動上の問題等を含む） ②不適切な行動（不適切な性的行動等（性被害と性加害を含む））

		としたアセスメントと支援の基本	③心理アセスメントと心理的支援
	少年非行	（１）少年非行の現状と背景 （２）児童福祉法と少年法との関係 （３）少年非行に関する支援に係る専門職等の役割	①少年非行の現状と心理的・社会的背景等 ②虐待と少年非行 ③児童福祉法と少年法との関係 ④関連する専門職等の役割
	貧困に対する支援	（１） 貧困の概念 （２）貧困状態にあるこどもや家庭の生活実態とこれを取り巻く社会環境（貧困がこどもに及ぼす心理社会的影響の理解を含む） （３）貧困に対する法制度 （４）貧困に対する支援における関係機関と専門職の役割（こどもの貧困対策における学校の役割理解を含む）	①貧困の概念 ②貧困状態にあるこどもや家庭の生活実態 ③貧困状態にあるこどもや家庭を取り巻く社会環境（虐待との関係も含む） ④貧困状態にあるこどもや家庭に対する福祉の理念 ⑤貧困に対する法制度 ⑥国、都道府県、市区町村の役割 ⑦福祉事務所の役割、自立相談支援機関の役割 ⑧関連する専門職等の役割
	保育	（１）養護を基盤とした保育の理念や、保育制度や保育士に求められる役割、専門性 （２）こども・家庭が抱える課題と保育制度の関連性	①保育における養護の理念等の理解 ②保育所等におけるソーシャルワークと保育士に求められる役割、専門性の理解 ③こども・家庭が抱える課題と保育制度の関連性の理解（要支援児童・要保護児童及びその家庭も含む） ④保育所等における相談支援
	教育	（１）今日の学校教育現場が抱える課題とその実態 （２）スクールソーシャルワークの発展過程・実践モデル・支援方法 （３）公教育の目的と意義 （４）教育の場としての学校の理解 （５）教員の職務の全体像 （６） チーム学校運営	①公教育の目的と意義 ②教育の場としての学校の理解 ③教員の職務の全体像 ④児童生徒を取り巻く学校・家庭・地域の情勢（虐待、いじめ、不登校） ⑤学校におけるソーシャルワークの価値・倫理や役割、活動の内容（障害等個人が持つ課題への合理的配慮） ⑥スクールソーシャルワークの実践モデル ⑦スクールソーシャルワークの個別支援の視点、集団支援の視点 ⑧スクールソーシャルワークの学校・家庭・地域共同支援 ⑨チーム学校運営

こども家庭福祉とソーシャルワーク（総合）	こども家庭福祉分野のソーシャルワーク専門職の役割	（１）こども家庭福祉分野のソーシャルワークの倫理や価値を踏まえた、専門職の役割 （２）こどもに対する支援における関係機関と専門職の役割 （３）こども家庭福祉分野のソーシャルワークにおけるスーパービジョンの意義と方法	①こども家庭福祉分野のソーシャルワークの専門職の役割（倫理的配慮を含む） ②こども・保護者に向き合う姿勢（ストレングス、エンパワメント、共感、レジリエンス） ③こども・保護者との関係性に対する理解（ポジショナリティ、パートナーシップ）とこどもの福祉のためのこどもや保護者を中心とした支援 ④こどもや家庭への支援における関係機関と専門職の役割 ⑤こども家庭福祉分野のソーシャルワークにおけるスーパービジョン（自己の振り返りや自己覚知・倫理的ジレンマの解決のためのスーパービジョンを含む）
	多様なニーズをもつこどもや家庭へのソーシャルワーク	（１）こどもの安全の維持、ウェルビーイング、パーマネンシー保障のためのこども・家庭に対するソーシャルワークの意義 （２）こどもの安全の維持、ウェルビーイング、パーマネンシー保障のためのこどもや保護者に対するケースマネジメント （３）こどもを中心とした支援 （４）虐待予防に資する支援を始めとする多様なニーズを持つこどもや家庭への支援のアプローチ	①こどもの安全の維持、ウェルビーイング、パーマネンシー保障のためのソーシャルワーク ②ケースマネジメントとソーシャルワークの過程 （ア）ケースマネジメント （イ）インテーク（エンゲージメント） （ウ）アセスメント（身体的・精神的・社会的な観点からのリスクアセスメントやニーズアセスメント等、ジェノグラム・エコマップの作成を含む）、再アセスメント （エ）プランニング （オ）支援の実施 （カ）モニタリング （キ）支援の終結と事後評価 （ク）アフターケア ③こどもや保護者への面接技術 ④家庭への支援における当事者参画 ⑤多様なニーズをもつこどもや家庭への支援（地域の見守りやアウトリーチ等の予防的な支援を含む）のアプローチ（解決志向アプローチ等）
	こどもの安全確保を目的とした緊急的な対応に関するソーシャルワーク	（１）こどもの安全確保を目的とした緊急的対応に関する面接技術、支援のアプローチ、対応の方法を理解し、アセスメントや行政権限の行使等のソーシャ	①こどもの安全確保を目的とした緊急的対応に関するソーシャルワーク （ア）ケースの発見 （イ）通告の受理・調査（立ち入り調査、臨検・捜索を含む） （ウ）緊急保護

		ルワーク （２）重大事案の支援に必要な視点や態度	（エ）アセスメント（安全に焦点をおいたアセスメント等）、再アセスメント （オ）プランニング （カ）支援の実施 （キ）モニタリング （ク）支援の終結と事後評価 （ケ）アフターケア ②行政権限の理解と行使（調査権限や個人情報の取扱い、家庭裁判所への申立を含む） ③こどもを中心とした支援（一時保護の措置をとる際の当事者への説明等） ④こどもの安全確保を目的としたこどもや保護者に対する面接技術（支援者が持つ権力性への自覚を含む）（司法面接を含む） ⑤こどもの安全確保を目的とした緊急的対応時のこどもや保護者に対する支援のアプローチ（危機介入アプローチ等） ⑥こどもの安全確保を目的とした緊急的対応時の対応の方法（抵抗や拒絶への理解、こどものトラウマとそのケア）と緊急的対応後のこどもへの支援 ⑦重大事例（死亡事例を含む）
	地域を基盤とした多職種・多機関連携による包括的支援体制の構築	（１）多職種・多機関連携によるこどもや家庭への支援 （２）地域を基盤としたこどもへの包括的支援と支援体制の構築 （３）多職種連携に関する支援の実際	①多職種・多機関連携による支援と意義（都道府県と市区町村の連携、要保護児童対策地域協 議会の活用、重層的支援体制整備を含む ②多職種・多機関連携による支援の方法（コミュニケーション、コーディネーション、ファシリテーション等） ③地域におけるこどもの生活と地域の見守り、こどもの居場所に関する支援 ④こども家庭福祉分野のソーシャルワークに係る、不足する資源やシステムの開発・ソーシャルアクション（児童虐待を含めた課題を抱えたこどもへの支援に関する地域社会への働きかけを含む） ⑤地域共生社会の実現に向けた専門職の役割 ⑥多職種連携に関する支援の実際 （ア）社会的養護を必要とするこども（児童福祉施設等、里親家庭等、養子縁組） （イ）自立支援（成年後見制度等、障害者福祉制度、年金制度、居住支援、就労支援等） （ウ）保育

			（エ）学校教育 （オ）ひとり親家庭 （カ）少年非行（司法機関（警察、検察、鑑別所、家庭裁判所等）） （キ）貧困 （ク）精神保健
	組織の運営管理	（１）判断過程における、個人の常識や組織の環境等の要因による判断の偏り （２）重大なミスを防ぐために組織等で共有されている安全に関する要件等 （３）組織マネジメント （４）組織内外におけるスーパービジョン等 （５）組織における人材の育成と支援（メンタルヘルス）	①判断過程における、個人の常識や組織の環境等の要因による判断の偏り ②重大なミスを防ぐために組織等で共有されている安全に関する要件等 ③組織マネジメント ④組織内外におけるスーパービジョン 、コンサルテーション ⑤組織における人材の育成と支援（心理的安全性、メンタルヘルス）
ソーシャルワーク	ソーシャルワークの基盤と専門職	（１）ソーシャルワーク専門職の位置づけと役割 （２）ソーシャルワークの概念 （３）ソーシャルワークの基盤となる考え方 （４）ソーシャルワークの形成過程 （５）ソーシャルワークの倫理 （６）ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲 （７）ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク （８）総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容	①ソーシャルワーク専門職の位置づけと役割 ②ソーシャルワークの定義 ③ソーシャルワークの原理と理念 ④ソーシャルワークの形成過程 ⑤専門職倫理の概念 ⑥ソーシャルワーカーの倫理綱領 ⑦倫理的ジレンマ ⑧ソーシャルワーク専門職の概念と範囲 ⑨福祉行政等における専門職 ⑩民間の施設・組織における専門職 ⑪ミクロ・メゾ・マクロレベルの対象 ⑫ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク ⑬多機関による包括的支援体制 ⑭フォーマル・インフォーマルな社会資源との協働体制 ⑮ソーシャルサポートネットワーキング ⑯多職種連携及びチームアプローチの意義 ⑰機関・団体間の合意形成と相互関係 ⑱利用者、家族の参画
	ソーシャルワークの理論と方法	（１）人と環境との交互作用に関する理論とミクロ・	①システム理論 ②生態学理論

		メゾ･マクロレベルにおけるソーシャルワーク （２）ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ （３）ソーシャルワークの過程 （４）ソーシャルワークの記録 （５） ケアマネジメント（ケースマネジメント） （６）集団を活用した支援 （７）コミュニティワーク （８）スーパービジョンとコンサルテーション （９）ソーシャルワークにおける援助関係の形成 （１０）ソーシャルワークにおける社会資源の活用･調整・開発 （１１）ネットワークの形成 （１２）権利擁護とアドボカシー （１３）ソーシャルワークに関連する方法 （１４）カンファレンスについて理解する （１５） 事例分析 （１６）ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実際	③バイオ・サイコ・ソーシャルモデル ④ミクロ･メゾ･マクロレベルにおけるソーシャルワーク ⑤ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチ ⑥ソーシャルワークの過程 ⑦記録の意義、目的、方法 ⑧ケアマネジメント（ケースマネジメント）の原則と方法 ⑨グループワークの意義、目的、展開 ⑩コミュニティワークの意義、目的、展開 ⑪ソーシャルアドミニストレーションの意義、目的、展開 ⑫スーパービジョンの意義、目的、方法 ⑬コンサルテーションの意義、目的、方法 ⑭援助関係の意義、概念、形成方法 ⑮面接技術 ⑯アウトリーチ ⑰社会資源の活用・調整・開発 ⑱ソーシャルアクション ⑲ネットワーキング ⑳コーディネーション ㉑ネゴシエーション ㉒ファシリテーション ㉓プレゼンテーション ㉔カンファレンス ㉕事例分析 ㉖総合的かつ包括的な支援の考え方 ㉗家族支援の実際 ㉘地域支援の実際
	地域福祉と包括的支援体制	（１）地域福祉の基本的な考え方 （２）福祉行財政システム （３）福祉計画の意義と種類、策定と運用 （４）地域社会の変化と多様化･複雑化した地域生活課題 （５）地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制 （６）地域共生の実現に向けた多機関協働 （７）災害時における総合	①地域福祉の概念と理論、発展過程 ②地域福祉の主体と形成 ③国の役割、都道府県の役割、市区町村の役割 ④国と地方の関係 ⑤福祉行政の組織及び専門職の役割 ⑥福祉における財源 ⑦福祉計画の意義・目的と展開 ⑧市町村地域福祉計画・都道府県地域福祉支援計画の内容 ⑨福祉計画の策定過程と方法、実施、評価 ⑩地域社会の概念と理論 ⑪地域社会の変化

		的かつ包括的な支援体制 （８）地域福祉と包括的支援体制の課題と展望	⑫多様化・複雑化した地域生活課題の現状とニーズ ⑬地域福祉と社会的孤立 ⑭包括的支援体制 ⑮地域包括ケアシステム ⑯地域共生社会の実現に向けた各種施策 ⑰非常時や災害時における総合的かつ包括的な支援 ⑱地域共生社会の構築